

手作りロケット 夢をのせて空高く



こ が
古 河

広
報

No.127

4

APRIL
2016



平成28年度
施政方針

「^{はな}華^まのある都市^ち 古河」 新たなまちづくりがスタート

3月2日から第1回市議会定例会が開かれ、菅谷憲一郎市長が平成28年度の市政運営の基本姿勢を示す「施政方針」を述べました。ここでは、市長が示す基本方針と主な事業の内容を要約して紹介します。

なお、施政方針の全文は、市公式ホームページに掲載しています。

はじめに

東日本大震災から5年が経過しようとしています。被災地の1日も早い復旧復興をお祈りいたします。また、昨年9月の関東・東北豪雨におきましては、古河市も甚大な被害を受けました。現在補正予算を組み、土地改良区排水施設等の早期の復旧に取り組んでおります。

市長に就任してから3年が経過しました。これまで「市民が主役のまちづくり」の実現に向け努力してきました。今後も変わらぬ市

政運営に努めてまいります。

平成28年度は「第2次古河市総合計画」「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿ったまちづくりがスタートします。より一層の強い決意と情熱を持ってまい進してまいります。

職員の懲戒免職処分を取り消しを求めた訴訟に係る判決につきましては、原告の行った非違行為に対し、市の主張についてはおおむね認められたものと考えておりますが、手続き上の瑕疵を認め控訴しないことといたしました。多くのみなさまにご心配をおかけしま



したことを重く受け止め、信頼回復に向けて今後も努力してまいります。

市政運営の基本方針

次に市政運営の基本方針を述べさせていただきます。

わが国は、世界に類を見ないスピードで少子高齢化・人口減少社会の真ただ中にあり、国においては地方創生が最重要課題の一つとして位置づけられております。

第2次古河市総合計画につきましては、先の議会において、基本構想の議決をいただきました。基本理念である「華のある都市古河」を目指し、持てる力のすべてを傾注してまいります。

第1期基本計画期間の市政宣言としましては、「若者に選ばれるまちづくり」を掲げ、それぞれの分野において効率的で効果的な施策を展開し、特に「子育て支援の徹底」、わかりやすく楽しい授業づくりのための「教育環境の整備」、「雇用拡大のための応援」に全力で取り組んでまいります。

予算編成につきましては、中長期的な財政構造の変化を見据えた財政運用が必要との認識に立ち、事業の選択と予算の集中により、一層の効率化と財源配分の重点化を図りました。

組織につきましては、古河市の人口に見合った効率的で機能的な体制を構築するため、部の数をさらに減らし、中間的な局を新たに設けて喫緊の課題に対し迅速に対応できる形にしました。

地方創生の取り組み

地方創生につきましては、先に策定した人口ビジョンを基に、今後5カ年の目標や施策の方向性を示す「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

新たに創設された地方創生加速化交付金につきましては、戦略産業・定住促進事業と地域観光モデルツアー推進事業について、現在、国に申請しております。

主 な 事 業

教育文化

●教育振興基本計画の策定

教育の基本理念や目標などを具現化するため、「古河市教育振興基本計画」を策定します。

●ICT機器活用の推進

学力向上を目的にタブレット端末を増設し、デジタル教科書等の教育用ソフトや投影機等を活用した分かりやすく効果的な授業を展開します。



◀学力向上のための取り組みを展開します

●古河塾による放課後学習支援

市内全小中学校において、放課後学習支援の場を提供します。確かな学力を育むため、実施日数の増加および学習内容の質と意欲の向上を図ります。

●学校教育施設の整備

空調設備の設置工事、トイレの洋式化改修工事など、学習環境の向上を図ります。

●(仮称)市民交流センターの建設

平成28年度の完成を目指して、老朽化した古河勤労青少年ホームの代替施設として(仮称)市民交流センターを建設します。

●(仮称)三和地域交流センターの建設

平成29年度の完成を目指して、老朽化した三和公民館を解体し、新たに(仮称)三和地域交流センターを建設します。

●茨城国体に向けた施設整備

平成31年度に開催される茨城国体に向けて、中央運動公園の整備を行います。平成28年度はサブアリーナの実施設設計を進めます。

福祉健康

●ひとり親家庭への負担軽減

子育て世帯の経済的支援策の一つとして、ひとり親家庭への給食費や放課後児童クラブ負担金を全額助成します。

●駅前子育て広場の充実

平成27年7月に開設した駅前子育て広場を拡充し、「地域子育て支援センター」を開設して乳幼児とその親等を対象に遊びと交流の場を提供するとともに、一時預かり事業や送迎保育ステーション事業を実施します。



◀親同士の交流や育児の悩み相談、講演会の開催など広場の機能を充実

●子育て拠点施設の整備

古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」として位置づけ、老朽化した上辺見保育所を移転するための工事に着手します。

生活環境

●備蓄倉庫の設置

災害時における避難者支援を充実させるため、市内3地区に備蓄倉庫を設置します。

●災害情報伝達手段の強化

河川沿岸の公共施設にデジタル防災行政無線(屋外拡声子局)を増設し、大雨・洪水・暴風等の災害時における避難情報等の伝達手段を強化するための整備を行います。新

たに行政自治会20地区長に防災ラジオを配備して、市民への情報伝達をさらに推進します。

●消防団員の確保

消防団員確保の取り組みとして、消防団員の家族に対し家族功労報償金を支給します。



▲火災や災害から地域を守る古河市消防団

コミュニティ・行政

●市内循環バス「ぐるりん号」の運行

障がい者および同乗する介助者1人の運賃を無料にします。

また、小型バスを購入し、JR古河駅東口を起点とした新規コースの運行を開始します。



▲平成10年6月に運行を開始した「ぐるりん号」。より利便性を高めます

●男女共同参画プランの策定

男女が対等なパートナーとして、個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し「第2次古河市男女共同参画プラン」を策定します。

●ふるさと納税返礼品の充実

魅力ある返礼品を拡充し、歳入確保に取り組むとともに、市内産業のPRと支援に努めます。



産業労働

●企業誘致の推進

企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の転入者に対し奨励金を交付し、市への定住を促進します。

●商工業団体への支援

市内商工業振興のための事業を実施する団体や、参加者・店舗・主催者が一体となり商業振興や定住化・少子化対策、地域振興を目的とするイベント「古河ほこてんマルシェ」「古河コン」に対し補助金を交付します。



▲昨年12月に初めて開催された「古河ほこてんマルシェ」。28年度は4回開催予定です

都市基盤

●道路環境の整備

筑西幹線道路、新4号国道アクセス道路などの幹線道路は用地買収を継続して行い、早期完成を目指します。

●三和メディカルセンター跡地の整備

三和メディカルセンターを解体し、跡地に子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の市民が集う、ふれあいと健康づくりの公園を整備します。

●古河公方公園^{くぼう}の整備

子どもが安心して遊べる噴水広場などの整備を行います。



▲里山の豊かな自然があふれる古河公方公園

新たな体制で新年度スタート

4月1日から

市の組織機構が変わりました

市では4月1日から組織機構の一部を変更しました。これまでの13部53課15室から10部5局51課10室になります。

組織機構改革の実施は、限られた行政資源を最大限活用し、市の政策を実現するために行うものです。組織をスリム化し柔軟性を持たせるとともに、市民サービスの向上や地域活性化に努めます。

【問】職員課(総和庁舎) ☎92-3111

組織の再編・新設の主な内容

部の統廃合

- 市民サービス部と環境安全部を統合し「生活安全部」に
- 文化スポーツ部と産業部を統合し「産業文化部」に
- 子ども部を局として「市長公室」に

部内に5つの「局」を設置

「部」と「課」をつなぐ組織として新たに「局」を設置しました。

- 市長公室に「子ども局」
- 生活安全部に「防災環境局」
- 産業文化部に「文化局」「スポーツ局」
- 都市建設部に「都市局」

窓口部門の一体化

市民サービスの向上に向けて、各庁舎の窓口の一体化を図ります。

- 総和庁舎
市民課、市民サービス課、総和庁舎国保年金窓口室→「市民総合窓口課」
- 古河庁舎
古河庁舎市民サービス室、古河庁舎市民窓口室→「古河庁舎市民総合窓口室」
- 三和庁舎
三和庁舎市民サービス室、三和庁舎市民窓口室、三和庁舎国保年金窓口室→「三和庁舎市民総合窓口室」

「危機管理課」の設置

災害をはじめ、さまざまな危機管理を総合的に統括する「危機管理課」を総務部に設置しました。

「工業団地開発推進室」の設置

新たな工業団地の造成を推進するため「工業団地開発推進室」を都市計画課に設置しました。

■その他の変更

- 行政改革推進室を企画課に編入
- 危機管理防災課を「危機管理課」と「防災交通課」に再編
- 生涯学習課と文化課を「生涯学習課」に再編
- 下水道課と農集排整備課を「下水道整備課」と「下水道管理課」に再編
- 下水道施設管理室を下水道管理課に編入
- 水道課に「水道施設室」を新設
- 臨時福祉給付金対策室を福祉総務課に編入
- 健康福祉部の国保年金課を生活安全部に移管

■部署の移転

- 商工政策課、観光物産課、企業誘致・定住促進室、消費生活センターは総和第2庁舎から古河庁舎へ
- スポーツ振興課、茨城国体推進室は古河はなもも体育館(中央運動公園総合体育館)から古河庁舎へ
- 区画整理課、営繕住宅課は古河庁舎から三和庁舎へ

新組織と主な業務内容

部・局	課・室	庁舎等場所	主な業務内容	電話番号	
市長公室	秘書広報課	総和庁舎3階	秘書、広報紙、ホームページ	☎92-3111	
	企画課	総和庁舎2階	行政経営、地方創生、広域行政、姉妹都市		
	情報統計課	総和第3庁舎	情報処理、情報セキュリティ対策、統計		
	子ども局	子育て応援課	総和第2庁舎2階		児童手当、児童扶養手当、児童・女性相談
		子育て対策課			保育所、幼稚園、認定こども園、児童クラブ
保育所(7)					
総務部	総務課	総和庁舎2階	情報公開、文書管理、公共交通、例規審査	☎92-3111	
	職員課	総和庁舎4階	人事、職員研修、福利厚生		
	契約検査課	総和庁舎1階	入札参加資格申請、契約、検査		
	危機管理課	総和庁舎2階	危機管理		
財政部	財政課	総和庁舎4階	財政、予算	☎92-3111	
	収納課	古河庁舎1階	市税等の徴収、納税相談、滞納整理	☎22-5111	
	市民税課		個人・法人住民税、軽自動車税、税証明		
	資産税課		固定資産税、都市計画税		
	財産活用課	総和庁舎1階	市有財産管理、公用車・市バス管理	☎92-3111	
生活安全部	市民協働課	総和庁舎1階	住民自治活動、コミュニティ活動、NPO	☎92-3111	
	人権・男女共同参画室	総和第2庁舎2階	人権対策、男女共同参画		
	古河市隣保館				
	市民総合窓口課	総和第2庁舎1階	戸籍、住民票、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、税証明、福祉申請	☎92-3111	
	三和庁舎市民総合窓口室	三和庁舎1階		☎76-1511	
	古河庁舎市民総合窓口室	古河庁舎1階	戸籍、住民票、福祉申請、パスポート	☎22-5111	
	国保年金課	古河庁舎1階	国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金	☎22-5111	
	防災環境局	防災交通課	総和庁舎2階	防災、消防、交通安全・防犯対策	☎92-3111
		環境課	三和庁舎1階	環境政策、環境保全、ごみ・公害対策	☎76-1511
		環境施設管理室	古河クリーンセンター	古河クリーンセンター、渡良瀬処理場管理	☎22-6353
古河クリーンセンター					

※新設、名称変更、移転した部署は色(■)がついています。

組織機構改正

部・局	課・室	庁舎等場所	主な業務内容	電話番号
健康福祉部	福祉総務課	総和福祉センター 「健康の駅」	社会福祉団体、援護、地域福祉、給付金	☎92-5771
	生活保護課		生活相談	☎92-4960
	障がい福祉課		障害福祉サービス、障害者手帳	☎92-4919
	高齢福祉課		高齢者福祉サービス、介護予防事業	☎92-5838
	地域包括支援センター		介護予防プラン作成、高齢者総合相談	☎92-5920
	介護保険課		介護認定、介護保険管理、介護保険料	☎92-4921
	健康づくり課	古河福祉の森会館	成人保健、母子保健、健康推進	☎48-6881
	児童発達支援センター		児童発達支援、保育所・学校訪問支援	☎48-6884
	古河福祉の森診療所			
尾崎国民健康保険診療所				

産業文化部	商工政策課	古河庁舎2階	商工振興、労政、中小企業金融	☎22-5111	
	企業誘致・定住促進室		企業誘致、定住促進		
	消費生活センター		消費者相談 [相談電話☎92-8811]		
	観光物産課		観光振興、物産振興、フィルムコミッション		
	農政課	三和庁舎2階	農業振興、農産、農政、担い手育成	☎76-1511	
	土地改良課		農地整備、農業用排水		
	生涯学習課	古河庁舎2階	生涯学習、青少年、文化振興、文化財保護	☎22-5111	
	文化局	古河歴史博物館			
		三和資料館			
		篆刻美術館			
		古河街角美術館			
		古河文学館			
	施設管理課	中央公民館	社会教育施設(公民館・図書館等)管理運営	☎92-3111	
	公民館等施設(10)				
古河図書館					
三和図書館					
スポーツ局	スポーツ振興課	古河庁舎2階	スポーツの推進、社会体育施設等管理運営	☎22-5111	
		古河はなもも体育館	スポーツの振興、各種大会、団体活動支援	☎92-0555	
	茨城国体推進室	古河庁舎2階	茨城国体開催準備	☎22-5111	
	中央運動公園				
	古河体育館				

都市建設部	都市局	都市計画課	三和庁舎2階	計画調整、都市計画道路整備、公園緑地	☎76-1511
		工業団地開発推進室		工業団地の造成・整備	
		区画整理課		土地区画整理事業の換地、基本計画、工務	
	建築指導課		建築指導、建築審査、宅地開発		
	道路整備課	三和庁舎1階	整備計画、道路改良工事、維持補修		
	用地管理課		道路等占用・工事許可、地籍調査		
営繕住宅課	公共施設の設計・工事監理、市営住宅				

※新設、名称変更、移転した部署は色(■)がついています。

部・局	課・室	庁舎等場所	主な業務内容	電話番号
上下水道部	下水道整備課	三和庁舎2階	整備計画、工事、受益者負担金・分担金	☎76-1511
	下水道管理課		管路等の維持管理、排水設備、使用料	
	水道課		給水申込書受付、検針、水道料金	
	水道施設室	三和浄水場	工事、施設の運転・維持管理	☎76-3780
	三和浄水場 思川浄水場			
会計管理者	会計課	総和庁舎1階	公金の出納・保管、審査	☎92-3111
教育部	教育総務課	古河庁舎2階	教育委員会会議、学区、就学、就学援助・健診	☎22-5111
	小学校(23)、中学校(9)			
	教育環境整備課	古河庁舎2階	学校施設の維持管理、修繕、改築	☎22-5111
	指導課		学校教育の指導・助言、教育相談	
	学校給食課	学校給食センター	学校給食施設の管理運営、学校給食費	☎98-3555
学校給食センター				
市議会	事務局	古河庁舎3階	定例会、請願・陳情、議会報の発行	☎22-5111
農業委員会	事務局	三和庁舎2階	農業委員会会議、農地法申請	☎76-1511
監査委員	事務局	総和庁舎1階	定期監査、決算審査、現金出納検査	☎92-3111
選挙管理委員会	事務局		各種選挙の執行・管理、選挙啓発	
公平委員会	事務局		職員の措置要求審査、不服申し立て	
固定資産評価 審査委員会	事務局		固定資産税課税台帳に登録された価格についての不服審査	

※新設、名称変更、移転した部署は色(■)がついています。



古河庁舎

総和庁舎(本庁)

三和庁舎

～本格稼働へ向けサポート～ 整備進む古河名崎工業団地



新工場が続々完成

古河名崎工業団地で生産を行っている日野自動車株式会社古河工場は、平成29年初頭に本格稼働を予定しています。すでに稼働を開始している海外向け梱包工場、車軸工場に次ぐ新工場が続々と完成し、稼働に向けた準備を進めています。

これらの新工場の中には車両を組み立てる工場も含まれており、稼働後にはいよいよ、古河市から全国、世界に向けて新車が出庫することになります。



▲昨年11月、「市産業振興講演会」で日野自動車常務役員の小俣英之氏が古河工場への移転について講演

発展する古河市の工業

古河市の製造品出荷額等は、平成23年は4,899億円でしたが、平成25年には7,477億円と1.5倍増となっており、特に自動車製造業が含まれる輸送用機械部門では、3.3倍に増加しています。

新工場が順調に稼働すれば、さらなる増加が見込まれます。

働く場が増えていきます

古河名崎工業団地で稼働する企業にも、市から地元雇用を呼び掛けています。すでに、平成21年度から27年度の7年間で、高校新卒者の内定数は県内で約340人、市内でも約180人となっています。

今後も継続して地元雇用の促進を図っていきます。

本格稼働開始に向けて たくさんの従業員が移転してきます

円滑な受け入れ体制を構築

日野自動車の本格稼働時には、多くの従業員が古河工場に移転してきます。従業員数2,000人規模となることが想定されており、市は、市内見学会や本社周辺での定住PRなどを通じて、各種支援事業や古河市の魅力を紹介しています。

また、「若者・子育て世帯定住促進奨励事業」を推進し、従業員の皆さんに古河市に定住していただけるよう取り組んでいます。

今後も、子育て支援や教育環境整備に全力で取り組み、「若者に選ばれるまちづくり」をさらに進めます。



▲従業員と家族を対象に、市内見学会を随時開催

寮の建設にも着手

古河名崎工業団地南東部の拡張造成工事も急ピッチで進んでおり、筑西幹線道路の延伸工事や、多くの従業員が住む社員寮の建設工事も進んでいます。

市内にも、アパート・戸建てを含め、たくさんの移転者が生活することになります。皆さんのご近所、自治会・行政区にも古河市に不慣れな人が住むかもしれません。新たに仲間になる人たちを古河市民全体で温かく迎えましょう。

拡充

若者・子育て世帯 定住促進奨励金制度

若者・子育て世帯の転入者へ奨励金を交付し、古河市への定住をサポートします。新築・中古住宅を取得した日または古河市に転入した日のいずれか遅い日から6カ月以内に申請してください。

さらに古河市への定住を促進するため、区画整理地内の保留地を取得した場合の奨励金は、平成28年度から100万円に増額(前年度比：50万円増)となりました。

対象 次の①および②に該当する世帯
①本人または配偶者が39歳以下の世帯もしくは15歳以下の子を養育する世帯のいずれか

②平成24年1月1日以降に古河市に転入し、平成27年1月1日～平成29年12月31日に住宅・マンションを購入した世帯

●新築住宅を購入(最大150万円)

転入者住宅取得奨励金：40万円

市内業者施工奨励金：10万円

区画整理事業保留地取得奨励金

：100万円

●中古住宅を購入(最大50万円)

転入者住宅取得奨励金：40万円

市内業者リフォーム施工奨励金：10万円

【問】企業誘致・定住促進室(古河庁舎)

☎22-5111



古河市景観 まちづくりニュース

～景観について考えてみましょう～

市では平成 23 年 3 月に市全域を対象とする「古河市景観計画」を策定し、平成 27 年 1 月に「古河市景観条例」を施行しました。「人・歴史・自然の共演 ふるさと古河の景観舞台づくり」を目指して、地域性を踏まえたまちづくりを進めていきます。

【問】都市計画課(三和庁舎) ☎76-1511

景観とは

皆さんが普段目にしていて道路や建物の街並みや、山・川・田畑などの風景のことです。

景観は「自然」や「時間」「デザイン」などで形成されており、良好な景観は、これらの要素の規模や形態、色彩などのバランスがとれている状態といえます。



地域の特徴を生かしたまちづくり

景観形成重点地区に指定されている古河歴史博物館周辺地区は、旧城下町の面影が色濃く残る歴史的文化的な価値の高い街並みが特徴です。

文化施設や古河第一小学校を含む公共施設地区と、隣接する一般住宅地区に独自の景観形成基準や届出制度を設け、周辺地域一体の調和を図りながら、昔ながらの風情ある街並みの維持・形成に努めています。



▲鷹見泉石記念館と石畳(写真左)、古河第一小学校のシンボル「赤門」(写真右)

連載企画①
こが古今東西

景観は時間の経過とともに変わります。今回は、昨年7月に開業 130 周年を迎えた JR 古河駅とその周辺の変遷を紹介します。日ごろ何気なく見ているまちの様子を、ときには少し違った気持ちで見えてみてはいかがでしょうか。

西口の様子



昭和40年代



昭和40～50年代



平成27年5月

東口の様子



昭和50年代



昭和58年



平成26年11月

55年の歴史に幕を下ろす 産業技術専門学院が閉校

3月4日、県立古河産業技術専門学院の修了式と閉校式が行われました。同学院は、昭和35年10月に県立三和職業訓練所として開所。古河市周辺の中学・高校の卒業生が数多く在籍し、就職に必要な技術や資格を習得してきました。

最後の生徒は自動車整備科の9人。学院長が「ここで学んだ知識や技能をそれぞれの職場で存分に生かしてほしい。相手の気持ちになって考え行動する人になってください」と激励すると、修了生代表の倉本聡一郎さんが「新たな夢と希望を持ち、立派な職業人になります」と力強く誓いました。

これまで巣立った修了生は6,135人。その多くが、社会の第一線で活躍しています。日本のものづくりを支える人材を輩出してきた学び舎が、その役目を終えました。



▲3月末で閉校した県立古河産業技術専門学院



▲2年間の学院生活を終えた修了生。今後の活躍を期待します



▲寒い早朝に心の温まるあいさつが交わされました



▲地域の見守り隊として活動の幅を広げていきます

防犯活動の強い味方 青パトが地域の輪に加わりました

2月26日、古河第四小学校で「小中・地域連携あいさつ運動」が行われました。当日は古河第二中学校の生徒と古河警察署員、そして行政自治会第4地区を中心に設立された第4地区コミュニティのメンバーが、校門で登校する児童に笑顔であいさつをしました。

あいさつ運動の後、市の地区コミュニティとして初めて導入した青色防犯パトロール車(青パト)2台が全児童に披露されました。青色防犯パトロール車は、青く光る回転灯を取り付けて、地域の防犯のために走行する自動車です。

第4地区コミュニティ交通防犯部会長の菊地進すすむさんは「子どもたちが安心して学校に通える暮らしやすい地域にしたい。青パトの活動を通して、児童だけでなく保護者の皆さんにも地域の連携に関心を持ってもらい、市全域で地域の見守り活動の機運が高まるとうれしい」と話してくれました。

わいせつ行為を行った職員の 懲戒免職処分取消訴訟に係る報告とおわび

すでに新聞等で報道されましたように、古河市が平成26年3月28日付で原告に対して行った懲戒免職処分について、取り消しを命じる判決が出されました。

このことは、原告が業務時間外に一人で複数の生活保護受給者宅を訪問し、身体を触った等の非違行為(法令等に違反する行為)が認められたため、懲戒免職処分を行ったものです。

原告が処分の取り消しを求めた裁判では、生活保護受給者に対するわいせつ行為について、おおむね市が主張する非違行為があったと認定されました。また、各非違行為が、公務員としての信用を大きく失墜させるものとして地方公務員法の懲戒事由に該当することは明らかであり、ケースワーカーとしての地位を利用して行った行為は甚だ悪質なものと言わざるを得なく、市による懲戒免職処分が社会通念上著しく妥当性を欠くものではないとされました。

しかし、処分の説明書に地方公務員法第49条(不利益処分に関する説明書の交付)第1項に基づく理由を記載しておらず、同項の要求する処分事由の記載として不十分であるため、懲戒免職の処分取り消しを免れないとされました。

この判決を受け、市長と副市長が給料を3カ月減額(市長10%、副市長5%)し、不利益処分に関わる説明書に携わった職員に対しても、減給3カ月(10%)の懲戒処分を行いました。

市民の皆様ならびに関係者の皆様には、ご迷惑ご心配をおかけしましたことを心からおわび申し上げます。今後はこのような事態が起こらないよう職員の服務規律の確保を図り、信頼回復に向けて努力してまいります。

古河市長 菅谷 憲一郎

地域を守る消防団員が勢ぞろい 消防春季点検式

2月28日、中央運動公園イベント広場、古河はなもも体育館(中央運動公園総合体育館)で消防春季点検式が行われました。

普段は各自の仕事に就きながら、災害時の消防・防災活動や平時の訓練に従事する27個分団の消防団員が勢ぞろい。服装や手帳、機械器具の点検を行い、万全の消防体制を確認しました。点検の後は、古河鳶一番組による木遣り歌やはしごのり、認定こども園なさきの幼年消防隊による防火の誓い、西南広域消防行進隊による集団行動が披露され会場を盛り上げました。

会場を古河はなもも体育館へ移した表彰式では、長年消防活動に従事した団員などに表彰状や感謝状が贈られました。



◀消防ポンプ自動車の点検も行われました



▲元気いっぱいの子どもの姿に会場から温かい拍手が送られました

注目! まちの話題

● 新たな旅立ち 市内小中学校卒業式

3月10日・18日・22日に市内9中学校・23小学校で卒業式が行われました。

古河第二中学校の卒業生答辞では、生徒会長の三瓶直人^{さん}が修学旅行や持久走大会など楽しかった学校生活を振り返りながら、恩師や保護者への感謝と後輩へのエールを送りました。

今年の卒業生は小学生1,301人、中学生1,229人。卒業生は、在校生や恩師に見送られながら思い出のたくさん詰まった校舎を後にしました。これからの皆さんの活躍を期待しています。



▲古河第二中学校からは、それぞれの夢に向かって201人の生徒が巣立ちました

● 「災害時における車両等の移動に関する協定」～災害に迅速に対応するために～



▲災害時の車両移動にご協力いただきます

2月29日、市は有限会社^{かわて}川手自動車板金工業、カントウボディサービス有限会社と「災害時における車両等の移動に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害時に救急車などの緊急車両の通行を確保するために、市道上で妨げとなる車両などがあった場合、市の要請により速やかに車両移動を行ってもらうものです。

事故車両等の移動に機動力を発揮している2社の協力で、災害時にもより迅速で的確な対応ができるようになります。

● 東日本大震災から5年 災害時に活用できる料理講座を開催



▲新聞折り込みチラシで作った紙皿に料理を取り分け

東日本大震災から5年を迎えた3月11日、総和福祉センター「健康の駅」で、「災害時に活用できる知って得するごはん講座」が開催されました。当日は20人が参加。ジッパー付きの保存袋を利用したご飯や缶詰など常備食を使った調理実習、新聞折り込みチラシを使った紙皿作りに挑戦しました。

参加者は、省電力で作れ、片付けも水や洗剤をなるべく使わずに済む料理方法に関心を持った様子。災害時の備えと健康でいることの大切さをあらためて実感したようでした。

キラッ! 輝く人たち

地域密着型の素人演劇集団「ふきの芽一座」。
2月28日、三和農村環境改善センターで19回目
となる公演が行われました。ふきの芽一座は、
八俣小学校区を単位に組織されている地区コ
ミュニティ「八俣ふきの芽会」のメンバーで構
成され、地域に根ざして伝統文化の継承を続け
ています。

「ふきの芽一座」監督の初見金一さんと「八
俣ふきの芽会」会長の篠原英二さんに、一座旗
揚げのきっかけや、芝居への思いを語っていた
できました。

一人ひとりが輝く舞台

平成9年1月26日に旗揚げした「ふきの芽一
座」。地域コミュニティ活動を進める中で、
「自分たちで何か新しいことをやってみよう」
と地域が団結したことから始まりました。

今年の出演者・スタッフは約50人。舞台設計
から大道具・小道具の準備、公演のチラシ作り
やPR活動まで、すべて地域の人たちによる手
作りの舞台です。

旗揚げ公演からずっと舞台監督を務める初見
さんは「芝居の経験がない人がほとんど。大
工、農家、会社員など職業もさまざまなメン
バーが、公演前は週2回の練習に熱心に足を運
びます」と話します。裏方として何役もこなし
ながら舞台を支える篠原さんも「役者も裏方も
関係なく、公演の成功という目標に向かって一
つになれる」と地域の絆を感じています。

お客さんの笑顔があるから

今年の演目は大衆演劇の最高傑作として名高
い「一本刀土俵入」。相撲部屋を破門され、無
一文の駒形茂兵衛が、取手の宿場でお蔭から金

「芝居で地域を一つに」

ふきの芽一座



▲小学5年生から74歳まで幅広い年齢層の「ふきの芽一座」の皆さん

品を恵んでもらって空腹を満たした。受けた恩
義を返すべく10年後、取手に戻ると、お蔭の
夫は追われる身となっていた、というお話。

これまでも、「国定忠治」や「瞼の母」など
人情時代劇を中心に上演。前回公演の「瞼の母」
は、素人とは思えない名演技で観客が涙をうか
べるほど。

お涙ちょうだいの人情時代劇は、観客にも分
かりやすく喜んでもらえる。「一本刀土俵入」
は、旗揚げ公演を含め今回で3回目の定番演目
です。今年は、大がかりな舞台セットに挑戦し、
常に観客に楽しんでもらいたいという思いがあ
ふれていました。

客席からの歓声が快感

「芝居の魅力は観客の拍手かな。嬉しくなっ
ちゃって、それまでの悩みや苦労も吹っ飛ん
じゃいますよ」と、初見さんと篠原さんは声を
揃えます。

これからも、人と人が結び付き、地域に根
付いた「ふきの芽一座」の活躍を楽しみにして
います。



図書館のオススメ

【一般書】

○還暦シェアハウス

泉 麻人 著

60歳を前に妻から別居を宣言され、一人娘は海外留学中。人生の半分以上を「昭和」で生きてきた男が、一念発起し55歳以上を対象にしたシェアハウスに住むことに。中高年青春小説。出版社…中央公論新社
分類…Fイ



○ひんやりと、甘味

阿川 佐和子ほか 著

ここに、涼ありますー。冷たいスイーツにまつわる随筆集。阿川佐和子、池波正太郎、色川武大、立川談志、戸川幸夫、松井今朝子、丸谷才一、吉村昭らによる全41篇を収録する。出版社…河出書房新社
分類…914ヒ



【児童書】

○夢へ翔けて

ミケーラ・デプリンス 著

田中 奈津子 訳

シエラレオネで戦争孤児だったミケーラ。アメリカ人夫婦の養子になり、念願のバレエレッスンを受けられるようになるが…。どんな時でも前向きに努力する黒人の少女が、アメリカでバレリーナになるまでを綴った感動の自伝。

出版社…ポプラ社

分類…769



○あかいはねのふくろう

フェリドゥン・オラル 文・絵

広松 由希子 訳

赤いはねをしたふくろうの夫婦に、子どもがうまれました。子どものふくろうは、はねもまだ赤くなくて、飛ぶことができません。それに、いっしょに遊ぶともだちもいませんでした。すると、ねずみがやってきて…。出版社…復刊ドットコム

出版社…復刊ドットコム

分類…Eア



古河図書館

注目企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

「みんなで会社をつくっていく」

茨城宝栄工業株式会社 奥山 美里 さん

トラック用のマフラーやブレーキ用のエアータンク、運転席周りの部品など、自動車部品を製造する会社に入社して8年目の奥山さん。総務課の係長として給与計算や労務、経理を任されています。

高校の先生に「古河市に新しく会社ができる。事務職員を募集しているのでどうか」と勧められ、1期生として平成21年に入社。設立のために取得した工場は古く、しばらく使われていなかったため敷地内は荒れており、建物には電気も水道も通っていない状態でした。それでも県外で行われる研修の合間を縫っては社員全員で古河市まで帰って掃除をし、操業開始の準備を進めました。その後も、奥山さんはただ一人の事務職として事務書類の様式を工場長と何

度も話し合い改善しました。「大変なこともありましたが、自分たちの手で会社をつくっているというやりがいが大きかったです」と当時を振り返ります。

昨年4月に事務職として2人が入社し、指導する立場になった奥山さん。「成長している姿を見るとうれしい。これからはもっと新人の育成に力を入れたいです」と今後の目標を力強く話してくれました。

■プロフィール

料理が得意で、メンチカツや炊き込みご飯をよく作ります。
25歳・鴻巣在住。



健康百科

春です！
おしゃれをしてお出かけしましょう
～閉じこもらない生活で介護予防～

高齢期に多くなる 「閉じこもり」

高齢期は、病気や体の痛み、身体・認知機能の低下、親しい人との別れなど、さまざまな要因から生活範囲が狭くなり、家に閉じこもり気味になる人が多くなります。

閉じこもりとは、寝たきりなどではないにもかかわらず、1日のほとんどを家で過ごし、週に1回も外出しない状態のことをいいます。

閉じこもりの悪循環

閉じこもり自体は病気ではありませんが、活動量が少なくなることで、次のような症状が現われます。

- 筋力やバランス感覚など身体機能の低下
- 心臓や肺の機能の低下
- 消化機能が低下し、抵抗力が弱まる
- 記憶力や判断力など認知機能の低下

これらの症状により、外出する自信や意欲を失うと、ますます外出しなくなる悪循環に陥り、全身の機能が低下し、寝たきりや認知症など介護が必要な状態につながりやすくなります。

閉じこもりのチェック

- 週に1回以上外出している
- 昨年に比べて外出の回数が減っていない

2つとも「いいえ」になった場合は要注意です。最近家にいることが多いと感じている人は、意識して外に出るようにしましょう。

閉じこもりを 防ぐためのヒント

◆生活空間を外へ広げましょう

昼間どこで過ごしていますか。自室での時間が長い人は、少しでも部屋から出る機会を増やしてみましょう。

例えば、台所で料理をする、庭で何か作業をしてみるなど。さらに外に出られそうなら買い物や散歩、友人に会う、地域の活動に参加するなど少しずつ生活の幅を広げていきましょう。

◆「出かける生活」を習慣づけましょう

外出の目的に、人との交流が加わるとさらに閉じこもり予防が効果的になります。人との交流がある人は自立度が高く、長生きであることがわかっています。

○積極的に外に出ましょう

買い物や散歩など、なるべく用事を作って外に出かけ、近所の人やお店の人と交流しましょう。

○趣味を楽しみましょう

趣味サークルなどへの参加は新しい仲間と出会えるきっかけにもなり、充実した毎日につながります。

○地域の活動に参加しましょう

地域の活動やボランティアに参加し、これまでの経験や知識を生かして地域の人と交流しましょう。

お出かけに最適な季節です。お化粧をして素敵な服を着ると、さらに心もウキウキしてきます。おしゃれは自信や満足感を高め、気持ちを若返らせます。

「年だから仕方ない」とあきらめず、いつまでも元気に自分らしい生活を送るために、まずは一歩外へと踏み出しましょう。

高齢福祉課

脳トレにチャレンジ!

●□に入る同じ漢字を考えましょう。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ① 笑
洗□面
色 | ② 恋
名□間
気 | ③ 手
折□幣
袋 |
| ④ 校
裏□師
園 | ⑤ 満
遠□首
袋 | ⑥ 開
押□見
粉 |

※答えは19ページ(下)にあります。

憩いのパークの魅力

ネーブルパーク研修センター「平成館」



ネーブルパークでは、木々の芽も日増しに膨らみ、新しい季節の到来を感じられるようになりました。今回は、その中にたたく研修センター「平成館」を紹介し、遠くへ出かけなくても「旅行気分が味わえる宿泊施設」として、市内外からたくさんの方に利用していただいています。

自然を身近に感じられる平成館では、お一人様から家族連れ・グループ、企業団体の宿泊や会議など、さまざまな用途に合わせた部屋をご用意しています。

研修施設は、講義室(1階64席)、研修室(2階72席)の2会場を備えています。用途に合わせてマイク・スクリーン・プロジェクターなどOA機器が無料で利用できます。

宿泊施設は、和室が6部屋、洋室が10部屋、最大94人の宿泊が可能です。お風呂は御影石をあしらったぜいたくな造りの大浴場が二つ。一日の疲れを癒すくつろぎの場をご用意しています。

お食事処は、緑に囲まれ外

光を多くとり入れた開放感あふれるレストラン「木立」で、季節折々のボリューム満点のお食事をお召上がりください。夕食時には、ライトアップされた木立やせせらぎの石垣が幻想的な夜景を醸しだし、料理と宿泊に「旅」を感じさせる隠し味となり、ちょっと得した気分を味わえます。

朝早いお目覚めには公園内の散策がお勧めです。鳥のさえずりを聞きながら、ゆっくりと森林浴を満喫すれば、きつとりフレッシュでき、充実した気分で満たされます。

これからも、平成館が皆さんの「人と人、自然と人のコミュニケーションを深める空間」としてお役立てできればと願っています。

※大人1泊4,000円(素泊まり)～。食事は別途要予約。小中学生、幼児も別途承ります。※研修利用料3,150円～(午前・午後・夜間区分有り)。

【予約・問】ネーブルパーク研修センター「平成館」

☎91-2080

表紙写真



3月10日、西牛谷小学校で、同校の6年生42人が、自分の将来の夢を記した垂れ幕を詰めた火薬式の紙製ロケットを打ち上げました。

「学校の先生になりたい」「看護師になって人の役にたちたい」。子どもたちが大きな声で自分の夢を宣言して発射ボタンを押すと、ロケットは上空約50メートルまで勢いよく上昇。垂れ幕は落下傘でゆっくりとグラウンドに舞い降りました。

地域の支援者の協力を得て、一人ひとりが手作りで制作した紙製ロケット。忘れられない卒業の記念となりました。

寄付



鈴木正大^{まさひろ}さんより、篆刻^{てんこく}美術館に酒井康堂^{こうどう}刻印、新聞^{しんぶん}静^{せい}郵^{ゆう}刻印など49顆の寄付。

古河市データ

人口



(3月1日現在) 住民基本台帳から
総人口… 144,469人 (-77)
男……………72,677人 (-14)
女……………71,792人 (-63)
世帯数…58,856世帯 (+29)
() 内は前月比

★わが家のアイドル★



高橋 ゆずは 柚羽ちゃん (1歳4カ月・長左工門新田)

パパもママも柚羽ちゃんから毎日笑顔と元気をもらってます。柚羽ちゃんと過ごす毎日はとても楽しくて幸せです。生まれてきてくれて本当にありがとう。元気にすくすく育てね。大好きだよ♥(父：祐太 母：結衣子)

今月の料理

ひじきのサラダ
＜高血圧予防食＞



- ①乾燥ひじき10gは水に浸けて戻し、お湯でさっと茹でて水気を切る。
- ②キュウリ2本、ニンジン50gは千切り、ニンジンはさっと茹でる。玉ネギ80gは薄切りにして水にさらし、水気を切る。鶏ささ身4本は茹でて、食べやすい大きさに切る。
- ③ボールにひじき・野菜・肉を入れ、ぽん酢大さじ3とごま油大さじ1で味付けをする。
＜4人分＞

〈1人分〉
エネルギー=92kcal
タンパク質=10g
脂質=3.4g
カルシウム=52mg
食塩相当量=1.1g



(食生活改善推進協議会)

●市内幼稚園・保育園等が交替でこのコーナーを担当しています。



子育てアドバイス

「挨拶」はコミュニケーションの第一歩

先日、お茶の先生から日本人の「挨拶」について話を伺う機会がありました。今の世の中、相手の目を見て、心を込めて、正しい挨拶をできる人が本当に少なくなりました。加えて、挨拶の仕方を教えるところも少なくなりました。デパートに行くのとデパートガールが出迎えてくれるホテルに行くのとベルボーイが出迎えてくれる。しかし、その挨拶も胸の前で手を組みマニュアルのような挨拶であると……。 「挨拶」の「挨」とは、「相手に近寄る、相手の側に行くということ」だそうです。正しい挨拶、嬉しい挨拶をお茶の世界で学んだことが、家族を通じて、会社の仲間を通じて広がっていけば、日本が素晴らしい社会を築き、簡単に人を傷つけるようなことをする人も少なくなるのではと、お茶の先生がおっしゃっていました。家族の中ではどうで



しようか……。 「親は子の鏡」といいます。特に乳幼児期は、挨拶をするお父さん・お母さんを真似て、子どもたちも挨拶ができるようになります。「そのうちできるようになるでしょ」「挨拶くらい……」ではなく、挨拶の大切さをそのつど教えてあげてくださいね。 さあ、新年度がスタートしました。「挨拶」はコミュニケーションの第一歩。私たちの日常において、相手が元気になるような、心を込めた明るい挨拶を親や大人が手本を示し、みんなが実践できたらと思います。

柘保育園

平成28年4月1日発行

●発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野224-8 古河市役所 202800(92) 3111
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.haraki.koga.jp/>